

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 2-1-2	事務事業名 田無庁舎整備事業	所管部課 総務部 管財課
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 協2-3	施策名 健全な自治体経営の推進	施策目標 コスト意識・マネジメント意識をもった行政運営を行うとともに、市民との連携による運営及び市民に便利でわかりやすいサービスの提供をめざします。
---------------	--------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等	
	事業開始時期	実施形態

市庁舎及びこれに付随する設備機器の計画的かつ効率的な保全を実施することで、来庁者の安全性と利便性の確保を図る。

市庁舎総合管理を民間委託し、老朽化が進む庁舎の補修計画をたてながら、必要最小限の修繕・改修を行う。
平成22年度は、事前の雨漏り防止を目的に議会棟の屋上防水改修工事を行う。
平成23年度は、電話通話状況に不具合を生じている実態を踏まえ、庁舎間及び外部施設への電話交換機設備の取替えを行う。

平成22 年度

直営 委託 補助 その他 ()

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)				20,895	52,500	
内訳	国庫支出金・都支出金	千円					
	地方債						
	その他 ()						
	一般財源		0	20,895	52,500		0
所要人員(B)	人		0.30	0.30			
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	2,450	2,450		0	
臨時職員等賃金(C')	千円						
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	23,345	54,950		0	
単位当たりコスト							
(E)=(D)/ ()	千円	#DIV/0!	23,345	27,475		#DIV/0!	

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	屋上防水改修工事箇所	目標値	箇所			1		
電話交換機設備取替え	目標値	台				2		
(指標の説明 など) 屋上防水工事箇所(議会棟1箇所) 田無庁舎、保谷庁舎に設置されている電話交換機設備の取替え台数。								
評価指標の設定	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	一次	目標値	箇所			1		
実績値						2		
二次	目標値							
	実績値							
(指標の説明 など)								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	両庁舎間及び外部施設への電話通話状況で不具合が生じ、スムーズに用件を果たせないという声が、数多く上がっており、改善要望が強い。	
	事業実施上における制約や 財源確保等	電話交換機設備については、両庁舎に設置している2台を同時期に取り替えないと効果が生じない。	
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 2-1-2	事務事業名 田無庁舎整備事業	所管部課 総務部 管財課
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 協2-3	施策名 健全な自治体経営の推進	施策目標 コスト意識・マネジメント意識をもった行政運営を行うとともに、市民との連携による運営及び市民に便利でわかりやすいサービスの提供をめざします。
---------------	--------------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	本事業は、市庁舎利用における利便性向上や適切な施設保全の観点から、早期に実施すべき事業と考える。実施にあたっては、環境への配慮や特定財源の活用について検討するとともに、市民に与える影響を踏まえて補修工事の優先順位を判断し、計画的な事業実施に努められたい。